

歯と口の健康フェアを終えて

歯学科6年 大 藤 南々帆

2019年6月9日（日）に、イオンモール新潟南にて開催された、新潟市歯科医師会主催の「新潟市歯と口の健康フェア」に参加させていただきました。主催者以外の参加団体は、新潟市歯科技工士会、歯科衛生士会、新潟市薬剤師会、新潟県栄養士会、新潟市保健所、新潟大学歯学部、日本歯科大学新潟生命歯学部でした。

「健康づくりはお口から！」というテーマに基づき、各参加団体により無料歯科相談、歯磨き相談、技工物製作の実演、むし歯になりにくいおやつ の提案、口臭相談、肺年齢測定等、様々な企画が催されました。毎年来場者が多いと話には聞いていましたが、想像以上の来場者の多さに驚くとともに、皆様の歯への関心の高さを感じることができました。

本学からは、歯科麻酔科の田中裕先生と、歯学科6年生7名が参加しました。本学の企画の一つである「歯とお口の健康クイズ」においては、幼稚園生、小学生、そのご家族、毎年参加しているというリピーターの方、そして買い物ついでに偶然お寄りいただいた方など、老若男女問わず多数の皆様にご参加いただきました。

このクイズにご参加いただいた皆様に、歯に対する興味を持っていただくとともに、ご自分の歯を大事にしていだけるようになることが目的です。フェア開始直後から大変好評で、皆さまが真剣に参加してくださり、効果が高いイベントだったと感じています。出題を担当した私も、やりが

いと楽しみを感じることができました。また、ご来場いただいた皆様から、数多くのお礼の言葉や、来年も是非参加したい等の言葉をかけていただき、大変嬉しく思うとともに、有意義なイベントとなりました。

短い時間ではありましたが、今回のフェアへの参加により、疾病を未然に防ぐための啓蒙活動も、歯科医師の大切な職務の一つであることを実感しました。臨床実習では歯科治療ばかりに関心が行きがちですが、歯科知識や関心の向上による歯科疾患の予防に興味を持っていただくこと、疾患に陥る前に受診により歯の健康状態をチェックいただくことを働きかけることも大きな職務です。多くの方との会話や触れ合いにより、私自身の歯科医師の活動に対する視野も広がったと感じています。

来年も多くの皆様に来ていただき、一人でも多くの人が歯への興味をもっていただき、歯の大切さを知っていただきたいと思いました。そして、誰のために、そして何のために行動すべきかを、改めて考える良い機会となりました。今後、将来の進路を決定するうえでも、この経験は大きな意味を持つと思います。

今回のフェアにあたり、関係者の皆様に大変お世話になりましたことを、深く御礼申し上げます。参加させていただき、ありがとうございました。

